

こころってどこにあるのでしょうか？

尾久小学校 一年

田中 優衣

やなぎだせんせい、はじめまして、こんにちは。

わたしは、「こころってどこにあるのでしょうか？」
をよみました。

このほんをえらんだりゆうは、ほいくえんでだ
いすきだったせんせいがよんでくれて、ほんとう
にこころがあたたかくなったからです。

このほんではおんなのこ、おとこのこ、いろいろ
などうぶつたちが、「こころってどこにあるのか
な？」とかんがえていくおはなしです。このほんの
なかですきなばめんは、「こころはめにあるとおも
う」というところですよ。なみだには、うれしいなみ

だ、かなしいなみだ、くやしいなみだがあります。

うれしいなみだは、わたしはおとなしかみたこと
がありません。かなしいなみだは、わたしがじてん
しゃにうまくのれなかったときにながしました。

くやしいなみだはともだちがうんどうかいで、ま
けたときにながしていました。いろいろななみだ
があつて、とてもすてきだなとおもいました。

このほんにでてくるみんなはめや、はなや、ほっ
ぺや、あしや、しっぽや、みみや、いろいろなとこ
ろにこころがあるといっていました。わたしは、こ
ころはおねにあるとおもいました。なぜかとい
うとわたしはかんがえごとをしたときに、おねのあ
たりでおもっているかんじがするからです。ここ
ろは、かたちにはみえないけれど、からだのいろい
ろなところにあるということがよくわかりました。

とてもおもしろいほんなので、せんせいもよんでみてください。

柳田邦男先生からのメッセージ

〈優秀賞〉

田中優衣さんへ

『こころってどこにあるのでしょ』という絵本の題は、おもしろいですね。

自分のこころはどこにあるんだろうーなんて、ふだんは考えないですね。こころって目に見えないですね。

でも、田中さんがこの絵本にきょうみを持ったのは、保育園にかよっていたとき、先生が読んでくれてこころがあたたかくなったからだといので

すね。きっと先生の読み方がすごくやさしくてあたたかだったんでしょうね。よかった！

子どもたちやどうぶつたちが、こころはどこにあると思うか、いろいろ考えを出しあうのですが、田中さんがすきになったばめんは、「こころはめにある」というところなんです。ぼくも同じです。めはその人がどんな気もちや感情でいるかが、いちばんよくあらわれるからです。

田中さんは、めから流れるなみだに注目して、自分が見たことのあるうれしなみだ、かなしいなみだ、くやしいなみだのじっさいの場面を書いて、こころがめにあるという思いにかなり共感しますね。共感とは、賛成に近い感情です。田中さんの感性は豊かですね。

子どもたちや動物たちは、それぞれにちがう考

えを話しますが、田中さんは、しっかりと、「わたしは、こころはむねにあるとおもいました」と言いきりましたね。その理由は、「わたしはかんがえごとをしたときに、むねのあたりでおもっているかんじがするからです」というのですね。

こころはどこにあるかというのは、かがくてきにはとてもむずかしい話です。小学生の年れいでは、むずかしいかがくてきな答えを出すよりは、この絵本のなかのいろいろな考えや田中さんの考えのように、めいめいの考えをのびのびと出し合って楽しめばよいと思います。